

小学校 6 年間・中学校 3 年間は変わるのですか

全国には 4・3・2 制，5・4 制など様々な指導体制の小中一貫校があります。生駒市ではこれまでどおりの小学校 6 年間・中学校 3 年間で教育課程の大きなまとまりとした小中一貫校をスタートさせたいと考えています。現行からのスムーズな移行を可能にするため、また中学校 1 年生から入学してくる生徒が無理なく入ることが出来るようにするためです。

同じ理由で教育課程も全国標準である学習指導要領に基づいた教育課程を編成してスタートします。小学校 1 年生の英会話など特別な教科を設置している学校もありますが、生駒市でも小中一貫校設置後には、校内で話し合ってさまざまな特徴ある教育課程を編成していく可能性があります。市教育委員会もそれを支援していきます。

伝統ある生駒北小学校がなくなるのですか

一体的に運営し、〇〇小中学校や〇〇学園という通称名を付ける場合もあります。正式名称は、小学校は生駒市立生駒北小学校、中学校は生駒市立生駒北中学校のまま変わりません。小学校には小学校の活動があり、6 年生が小学校最高学年として活動する機会もなくなりません。

学力向上につながりますか

施設一体型一貫校にすることで、校長を 1 人とし、指導にあたる教諭を 1 名増やします。市費講師の配置も継続する予定です。授業の準備時間が十分とれない、専科教員や不在時の補充教員がないなど、小規模小学校の課題を解決させるとともに、小中の先生が相互に補い合うことにより、教科指導や部活動の指導も充実します。



学校行事は今までどおりですか



全国の小中一貫校では、いっしょに掃除をしたり、合同で行事をしたり、また小学校 5 年生から部活動に参加したりと、小学生と中学生がいっしょに活動する機会を作る工夫をしています。



9 学年の幅広い異学年交流の中で子ども達が育ち、中学生は小学生の模範として行動することが求められます。

小中学校の先生の協力も進むのですか

小中学校教員の協働で学習指導・生徒指導に取り組みます中学校の音楽や美術、英語等の教員が小学生を指導することができます。中学生になっても小学生のときから知っている教員がいて、生徒指導が充実し、生徒の安心感も高まります。不登校や問題行動が減った事例が多数報告されています。



生駒北小中一貫校 Q & A

Q 1 : なぜ、生駒北小学校、生駒北中学校で実施するのですか。

A 1 : 小学校と中学校を統合しても大規模にならないなど、施設一体型の小中一貫校を設置するにあたりもっとも適していると考えたからです。

学力の向上、生徒指導や部活動の充実、地域に根ざした教育活動など、これまでの良さを残しつつ未来の子ども達に必要な教育を生駒北中学校区から積極的に作り上げていきます。

Q 2 : 授業の形態は変わるのですか。

A 2 : 授業は、今までどおり行います。効果があると見込まれる場合は、中学校の教員が小学生を指導したり、小学校高学年から教科担任制が取り入れられたりしている事例もあります。

Q 3 : 他の市町村や県でも実施されているのですか。その状況はどうですか。

A 3 : 全国的に小中一貫校が増えています。文部科学省は、不登校児童生徒の減少、学力向上、規範意識の向上など、小中一貫校を設置しているほぼすべての市町村で効果が認められているとしています（中央教育審議会報告）。

Q 4 : 中学校に進学したという気分にならないのでは。小学校で人間関係において課題を抱えた子にとってはかえってマイナスではないですか。

A 4 : 進学したという気持ちの変化は小さいかもしれませんが、教育活動に意図的な段差を設けることで、同様の効果をあげることができます。一方、小学校で課題のあった子が中学校に行ってもその状況を知っている先生がいることで不安が軽減され、より適切な指導ができます。

Q 5 : 校時表はどうしますか。45分授業と50分授業の違いなど、問題点はたくさんあるのではないですか。

A 5 : 全国の小中一貫校では、1単位時間を弾力的に設定したり、チャイムの鳴らし方を工夫したりしています。また、多様な課題も学校の長所に変えていけるように努力しています。

Q 6 : 運動会を小中合同で行うのは発達段階を考えると難しいのではないですか。その他の行事についてはどうですか。

A 6 : 運動会は全国的にも小規模な小中一貫校では合同で行っている場合が多くあります。その他も効果が見込まれる行事は合同で実施するべきと考えます。

Q 7 : 施設・設備面で今より不便になりませんか。小中で共用となるのですか。

A 7 : 特別教室や多目的室など、使用状況を考えてより使いやすい設備にしていきます。多様な意見を反映した施設にして、先生方や子どもたちがより手応えを感じ、地域の皆様にも喜ばれる教育環境にしたいと考えています。